

音声言語処理入門

音声・動画
ダウンロード

図解・音声・動画でわかる

4月19日
配本予定

高良富夫(著)

A5判 並製 280頁 予価2,970円(本体2,700円+税10%)
ISBN978-4-327-38201-8 C0004 / NDC:007

音声はどうして言語としてとらえられるのか

図や音声データ・動画を多用し、音声言語処理の仕組みをわかりやすく解説。4部構成。まず物理学・生理学・心理物理学の切り口から音声言語の仕組みについて説明する。次に「人間はどのようにして音声を聞き分けるのか」という問いに音声の科学研究を通して答える。さらに応用として、音声合成と音声認識の仕組みを解説する。最後に今後の展望として、言語を獲得する人工知能の可能性について考察する。掲載図版約160点、音声データ約160個、動画19本収録。コラムとして、「ハートのこもった音を創る」「音が無いのに聞こえる」など、音声言語にまつわる興味深い話題を25編収録。言語聴覚士のための教科書または副読本としても使用できる。

〈著者紹介／著者による他の著作等〉

高良富夫(たから・とみお)

琉球大学名誉教授。東京工業大学大学院修了(工学博士)。琉球大学工学部長、沖縄職業大学校長、日本音響学会九州支部長を歴任。音声の分析・合成・認識・獲得および琉球語を研究。著書に「音とことばの実験室」(琉球新報社、2014)、「琉球ことばの科学—情報時代の琉球語探検—」(琉球新報社、2016)、「なぜ時間は存在しないのか」(共訳、青土社、2020)などがある。

目次

I 音の物理学

- 1章 静けさの音と音の大きさ
～音が無いとシーンと聞こえるのか～
- 2章 音を構成する部品
～音色は物理的には何なのか～
- 3章 スペクトル、そして美しい音とは

II 音声科学

- 4章 音声生成の仕組み
～気管と食道がつながっている!?おかげで～
- 5章 脳が音色を感じる仕組み
- 6章 音の心理物理
- 7章 言語音声の合成による分析
～なぜハートは愛/ai/なのか～

III 音声工学

- 8章 AIがしゃべる人工音声
～琉球語もしゃべる～
- 9章 音声自動認識
～自分で進化していく機械～

IV 言語の獲得・学習

- 10章 言語の獲得
～ヒトとサルの違い～
- 11章 言語獲得のモデル
～聞き話す赤ん坊コンピュータ～

〈類書〉

日本音響学会編 「音のなんでも小事典 脳が音を聴くしくみから超音波顕微鏡まで」(講談社ブルーバックス、1996)

高良富夫 「音とことばの実験室」(琉球新報社、2014)

新刊申込書

音声言語処理入門 図解・音声・動画でわかる

予価2,970円(本体2,700円+税10%)

ISBN978-4-327-38201-8 C0004

申込数

書店名(印)

冊

名前

ご住所 〒

TEL

24.02